



## 東京城東ロータリークラブに対する防災講話



東京城東地区隊は、平成30年4月9日江東区亀戸に所在する企業の方々を中心に構成されている東京城東ロータリークラブの定例会に集まった33名に対して防災講話を実施した。

この講話は東京地方協力本部が所掌する四〇地区隊の中で唯一、自衛隊の駐屯地が存在しない城東地区隊において、少しでも多くの方々に自衛隊の存在意義を知っていただき、防衛基盤の拡充を図るとともに、自衛官募集に関する広報を実施するため、城東地区隊協力者からの依頼に基づき実現した。

講話は、城東地区隊長（河北3等陸佐）が「災害への対応と日本の防衛」と題して、自衛隊法に基づく「自衛隊の任務」、「災害派遣の概要」などを解説した後、自衛隊生活の中で隊長自らが派遣された新潟県中越沖地震や東日本大震災における原発対応などの状況や体験談など当時の写真を用いて具体的に紹介した。

また、地元の木場公園に実際に設置されているマンホールトイレなどの災害設備や昨今の北朝鮮情勢を踏まえた日本の安全保障環境に関する現況を説明し、これからの日本の安全保障を維持していくためには、継続的に自衛官を志す若者の志願が必要であることを聴講者に強く訴えかけた。

聴講者は、「限られた時間の中で、防災や安全保障に関する見識を深めることが出来、非常に意義のあるものであった」等の感想を述べていた。

城東地区隊は、今後も様々な機会を活用し、区民の防災意識の高揚を図るとともに自衛隊の活動を広く認識していただき、募集活動に繋げていくとしている。

## 第62回全日本銃剣道優勝大会参加



平成30年4月15日、第62回全日本銃剣道優勝大会が日本武道館で開催され、光吉3尉、嶋田曹長、村上1曹、森本2曹、小林2曹の5名が東京地方協力本部チームとして防衛省第2部に参加した。

東京城東は今年で3回目の出場であり、過去2回の成績は、3回戦敗退と1回戦敗退。今回はその壁を乗り越え、決勝進出を目標に大会に臨んだ。

1回戦は川内駐屯地（3対2）、2回戦は東千歳駐屯地（3対2）及び3回戦は反町駐屯地（4対1）と、どの相手部隊も精鋭チームであったが、順調に4回戦へ駒を進めることができた。4回戦の対戦相手は、4年前まで11覇していた強豪 日本原駐屯地。東京城東は、村上1曹が戦を制する順調な滑り出しでその後の試合展開が期待されたが、1対4という結果で惜しくも敗退となった。しかしながら、これまで最高の4回戦に進出し、112チーム中、ベスト16の成果を挙げた。（因みに日本原駐屯地は準優勝）

選手は、銃剣道を通じて広報活動を行い、29年度は3名、30年度は1名の対象者が入隊する等、広報官としての職務にもプラスになっている。今後も皆様のご理解と応援をよろしく願います。